

本紙は記入例見本であり、書式・体裁は自由。
但し、記載内容が不十分とならないよう留意する。

御 見 積 書

〇〇〇〇株式会社 ○〇〇工場 御
下記のとおり、御見積申し上げます。

**熱利用事業
(新增設)記入例**

株式会社 〇〇〇〇〇 印
〒YYY-YYYY
△△県〇〇市〇〇1-1

件名 ○〇〇工場 新設蒸気ボイラー設備の
低炭素・脱炭素化による省CO2促進事業
工事場所 △△県〇〇市〇〇町1-1

実施計画書の事業名などを引用するなど
して、本補助事業の見積書であることが容
易にわかる件名を記入する。

見積もり作成
者の社印等
を押す。

御 見 積 金 7,892,000 (消費税抜き)
支 払 条 件 月末締め翌月払い
見 積 有 効 期 限 ** 日間

見積書有効期限は、交付申請提出時点で有効であること。

区分	費目	細分	内容	型番	数量	単位	単価	金額	備考
			2021年度 ボイラー設備新設工事						
工事費								7,172,000	
	本工事費	材料費	蒸気ボイラー設備		1	式	6,436,000		<2021-1>
		労務費	蒸気ボイラー設備		1	式	556,000		<2021-2>
		現場管理費	蒸気ボイラー設備		1	式	90,000		<2021-3>
		一般管理費	蒸気ボイラー設備		1	式	90,000		<2021-4>
	測量及び試験費		蒸気ボイラー設備		1	式		300,000	<2021-5>
								計	7,472,000
			廃棄物処分費、資 料作成費 (間接工事費を含む。)		1	式		420,000	
								7,892,000	
								789,200	
								8,681,200	
備考	<p>1ページ目に、下記項目を記載し、全体概要がわかるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画書に記載の各設備ごとの「補助対象経費」 ・「補助対象外経費」 <p>詳細は次ページ以降に記載する。</p>								

複数年度事業は各年度で実施する作業など
がわかる見積書を提出する。(工事件名に入
れて年度ごとに見積書提出も可)

実施計画
書に記載の
各設備と対
応が取れる
ようにする。

補助対象
経費

補助対象
外経費

この金額を様式第1別紙2-1
経費内訳の(1)総事業費
に記入する。(補助対象外
の経費を含む。)

様式第1別
紙2-1の経
費内訳の
資料番号
と一致させ
る。

【経費内訳書】

区分	費目	細分	内容	型番	数量	単位	単価	金額	備考
工事費			蒸気ボイラー設備						
	本工事費	(直接工事費)							
		材料費	蒸気ボイラー	A A A A A	1	台	5,000,000	5,000,000	建設物価/20**+月号 Page***
			貯湯タンク	B B B B B	1	台	900,000	900,000	建設物価/20**+月号 Page***
		×	*	C C C C C	5	個	40,000	200,000	建設物価/20**+月号 Page***
		×××	△△△	D D D D D	120	m ²	1,300	156,000	建設物価/20**+月号 Page***
			△△△	E E E E E	3	t	60,000	180,000	建設物価/20**+月号 Page***
			計					6,436,000	<2021-1>
									導入する設備の型式・型番を記入する。
		労務費	設置工事	F F F F F	10	人工	21,800	218,000	公共工事設計労務単価 〇〇県 ××工
			配管工事	G G G G G	10	人工	21,700	217,000	公共工事設計労務単価 〇〇県 ××工
			電気工事	H H H H H	5	人工	24,200	121,000	公共工事設計労務単価 〇〇県 ××工
			計					556,000	<2021-2>
		現場管理費						90,000	<2021-3>
		一般管理費						90,000	<2021-4>
	測量及び試験費		試験費					300,000	<2021-5>
									補助対象外経費があれば詳細が分かる内容を記載する。
									補助対象 小計
								7,472,000	
			廃棄物処分費		1	式		100,000	補助対象外
			資料作成費		1	式		300,000	補助対象外
			現場管理費		1	式		10,000	補助対象外
			一般管理費		1	式		10,000	補助対象外
									補助対象外 小計
								420,000	
									補助対象外費用に対しても間接工事費(現場管理費、一般管理費)を明記する。
									補助対象外経費は、補助対象外であることを明記する。
									小計
								7,892,000	
									消費税(10%)
								789,200	
									合計
								8,681,200	

区分・費目・細分の項目は交付規定別表第2に従い区分

材料単価は、建設物価(建設物価調査会編)、積算資料(経済調査会編)等を参考にし、根拠となる資料を備考欄に明記し、根拠資料を添付(当該部マーキング)する。

各費目・細分の内容は実施計画書に記載の各設備で計や小計などを分けて記

労務単価は、「公共工事設計労務単価表」を準用し、根拠となる資料を備考欄に明記し、根拠資料を添付(当該部マーキング)する。

補助対象外経費があれば詳細が分かる内容を記載する。

補助対象外費用に対しても間接工事費(現場管理費、一般管理費)を明記する。

補助対象外経費は、補助対象外であることを明記する。

御 見 積 書

□□□□株式会社 ○○○工場
下記のとおり、御見積申し上げます。

**熱利用事業
(新增設) 記入例**

株式会社 □□□□□ 印
〒YYY-YYYY
△△県○○市□□1 1-1

件名 ○○○工場 新設蒸気ボイラー設備の
低炭素・脱炭素化による省CO2促進事業
工事場所 △△県○○市□□町1-1

2022年度見積書の記入例は2021年度のものと同じ。なお、見積書を年度で個別に作成せず、内容で各年度がわかるような内容になっていても可。

御 見 積 金 1,361,000 (消費税抜)
支 払 条 件 月末締め翌月払い
見 積 有 効 期 限 ** 日間

区分	費目	細分	内容	型番	数量	単価	金額	備考
			2022年度 ボイラー設備新設工事					
工事費		(直接工事費)					1,001,000	
	本工事費	材料費	最適運転制御設備		1	式	660,000	<2022-1>
		労務費	最適運転制御設備		1	式	242,000	<2022-2>
		現場管理費	最適運転制御設備		1	式	49,500	<2022-3>
		一般管理費	最適運転制御設備		1	式	49,500	<2022-4>
	測量及び試験		最適運転制御設備		1	式	200,000	<2022-5>
				補助対象経費			計	1,201,000
			廃棄物処分費、資 料作成費 (間接工事費を含む。)	補助対象 外経費	1	式	160,000	
				小計			1,361,000	
				消費税 (10%)			136,100	
				合計			1,497,100	
備考								

【経費内訳書】

区分	費目	細分	内容	型番	数量	単位	単価	金額	備考
工事費			最適運転制御設備						
	本工事費	(直接工事費)							
		材料費	自動制御盤	A A A A A	1	面	500,000	500,000	建設物価/20***+月号 Page***
			センサー	B B B B B	3	個	10,000	30,000	建設物価/20***+月号 Page***
			***	C C C C C	100	m	1,300	130,000	建設物価/20***+月号 Page***
			計					660,000	<2022-1>
		労務費	電気工事		10	人工	24,200	242,000	公共工事設計労務単価 〇〇県 ××工
			計					242,000	<2022-2>
		現場管理費						49,500	<2022-3>
		一般管理費						49,500	<2022-4>
	測量及び 試験費		試験費					200,000	<2022-5>
								補助対象 小計	1,201,000
			廃棄物処分費		1	式		50,000	補助対象外
			資料作成費		1	式		100,000	補助対象外
			現場管理費		1	式		5,000	補助対象外
			一般管理費		1	式		5,000	補助対象外
								補助対象外 小計	160,000
							小計	1,361,000	
							消費税 (10%)	136,100	
							合計	1,497,100	